

## 第4期菊池市教育振興基本計画に関する意見募集の結果及び教育委員会の考え方について

第4期菊池市教育振興基本計画(案)について、市民の皆様からの意見を募集したところ、ご意見をお寄せいただきありがとうございました。寄せられましたご意見の概要とこれに対する菊池市教育委員会の考え方について、令和8年3月17日の教育委員会会議において承認をいただきましたので、次のとおりお示しします。

1.募集期間:令和8年2月2日(月)～令和8年3月4日(水)

2.ご意見の件数等:11件

3.ご意見の取り扱い

①反映…ご意見を踏まえ案を修正したもの 5件

②補足…ご意見に対して教育委員会の考えで補足説明するもの 2件

③参考…今後の取組の参考とさせていただくもの 4件

④その他…ご意見やご感想、素案以外へのご意見 0件

4.意見の概要と教育委員会の考え方

番	意見の概要	教育委員会の考え方	取扱い	担当課
1	<p>8ページ 1.確かな学力の育成 読書活動の充実について</p> <p>本市では、1校に1人の図書司書が専任で配置されており、これは県内でも先進的な配置体制です。加えて市立図書館司書との毎月の合同研修会や学校図書館司書部会での協議等を通して、学校図書館の充実に継続的に取り組んでいます。市立図書館には学校支援担当者があり、小中学校の図書館業務支援、教職員が授業で使う図書や児童生徒が読む図書を配送車を使い、貸し出し支援などを行っていることは、本市の大きな強みだと考えます。</p> <p>読書活動の充実の成果指標として「1か月に2冊以上読書をする児童生徒の割合」が挙げられていますが、読書活動の量的な側面だけでなく、こうした体制を生かした「学校図書館を活用した」調べ学習や探究的な学び、情報を適切に選択・整理・活用する力など、情報活用能力育成につながる学習活動の充実にも、施策や成果指標の中で目を向けていただけると、より「確かな学力の育成」に資するのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見を踏まえて、取組内容を「家庭学習や学校図書館と連携した読書活動の充実を図り、子どもたちが生涯にわたって自分の力で学び続ける力を育みます。」に修正します。</p>	①	学校教育課 市立図書館
2	<p>14ページ 7.いじめ・不登校対策の充実について</p> <p>いじめ・不登校対策の充実度を測るにあたっては、件数の増減だけでなく、早期に気づき、組織的に対応できているか、児童生徒が安心して学校生活を送れていると感じているかといった視点も重要ではないかと考えます。児童生徒や教職員の実感を反映した指標を合わせて設定することで、施策の充実度がより適切に把握できるのではないのでしょうか。</p>	<p>いじめ・不登校については、日頃より組織的に実態把握に努めております。ご意見については今後の参考とさせていただきます。</p>	③	学校教育課

3	<p>16ページ 9.ICT教育の推進について</p> <p>ICT活用推進で授業改善や主体的・対話的で深い学びの実現を目指すことには賛同します。一方で、成果指標としての三項目すべてが、「端末の活用100パーセント」を目指している点については授業の質との関係が分かりにくいと感じます。毎日端末を使用することが、必ずしも主体的・対話的で深い学びにつながるとは限らず、特に近年指摘されている基礎的・汎用的読解力の低下や教科書を丁寧に読む力との関係についても配慮が必要ではないでしょうか。文字を読む、鉛筆で書くといった基礎的な学習活動を丁寧に積み重ねることは、特に小学校では重要だと考えます。端末入力に頼りすぎること、こうした基礎的な力の育成に影響が生じないか、懸念もあります。成果指標についても、ICTを「どの程度使ったか」ではなく、学習内容や発達段階に応じて、教科書・ノート・対話等と「適切に使い分けているか」といった観点も検討されてはどうか。</p>	<p>本市では、ICT端末を新機種に更新します。多様な学び方が期待される一方、端末を効果的に活用し、児童生徒の学力を保障する授業のデザインも重要となってきます。また、端末を利用することが目的ではなく、端末も最大限利用して教育的効果を高めていくことも重要だと考えています。熊本県教育委員会による、学力調査の結果を受けた「課題の改善に向けた重点指標及び重点取組」では、教科書を使いこなすことや読み取る力を高めることの重要性が指摘されています。本市も各種研修を通して鉛筆の握り方はもとより、読解力の向上、ノート指導の充実などに取り組んでまいります。ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>	③	学校教育課
4	<p>19ページ 12教職員の資質・指導力の向上 不祥事の防止について</p> <p>不祥事防止研修が実施されているにもかかわらず、残念なことに令和7年度に本市で懲戒免職事案が発生してしまいました。成果指標に「不祥事防止研修の実施率」とありますが、研修の「実施」だけでなく、不祥事の未然防止につながる取り組みを反映した指標についても検討されてはどうか。</p>	<p>日頃から研修を行っているにもかかわらず、こうした事案が発生していることは大変遺憾に感じております。これまでも職員によるボトムアップ型の研修を実施してまいりましたが、今後も一層の充実が必要だと考えておりますので、ご意見を踏まえて、今後も引き続き研修に取り組んでまいります。</p>	③	学校教育課
5	<p>20ページ 13.学校運営の効率化の推進と教職員の働き方改革について</p> <p>教職員の働き方改革について、校務DX等による効率化が示されていますが、教職員の負担感は年々増しているように感じます。教職員の負担を軽減しつつ、学校指導体制を充実させるための公務DXであるならば、既存の業務をそのままデジタル化するのではなく、業務の目的や必要性を見直すBPR(業務改革)の視点が重要ではないかと考えます。必ずしも教師が担う必要のない業務の削減や役割分担の再設計を行ったうえで、ICTを活用することで、教職員の負担軽減と教育の質の向上につながる校務DXになるのではないのでしょうか。</p> <p>教職員の働き方改革を推進するための指標として在校時間の状況を把握することは重要である一方で、それだけでは改革の進捗や実行性を十分に捉えきれないのではないかと思います。業務の削減や見直しの状況、管理職によるマネジメント、教職員の負担感や満足度、支援体制の充実状況など、働き方改革の中身が見える指標も併せて設定することで、より実態に即した取り組みの推進につながるのではないのでしょうか。</p>	<p>公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部改正により、菊池市教育委員会では、「菊池市立小・中学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定しました。本計画は、令和8年4月1日より施行することとしており、本計画の推進によって、学校に勤務する教職員の業務量を適正管理し、心身の健康を確保、教育の質の維持・向上を図るとともに、働き方改革の一層の推進及び、組織的な学校運営及び指導の促進並びに教員の処遇の改善を図ることとしております。このことから、具体的施策に「業務量管理・健康確保措置実施計画の推進」を、成果指標に「業務量管理・健康確保措置実施計画の実施率」を追加します。</p>	①	学校教育課
6	<p>23ページ 16.郷土を愛する心と人財の育成について</p> <p>「郷土を愛する心と人財の育成」に関する成果指標として、「論語朗唱」の実施率が示されていますが、取り組み内容や具体的施策の中に論語朗唱に関する記載が見当たらず、成果指標として、位置づけられている理由が分かりにくいと感じました。「論語朗唱」が本方針にどのように寄与するのか、その位置づけや効果の説明を明確にしたいかと理解が深まるのではないのでしょうか。</p>	<p>取組内容を「郷土の歴史・文化を愛する心を育むため、論語やふるさとの歴史・文化を身近に学ぶことができる環境づくりに努めます。」に修正します。</p>	①	学校教育課

7	<p>成果指標は施策の達成状況を確認するためのものであると考えますが、頻度や実施率が目標になってしまうと、指標の達成が目的になってしまう懸念があります。本来の施策の趣旨や子どもの学びの質との関係が分かりにくくなるのではないのでしょうか。</p> <p>学力や業務効率の向上だけでなく、児童生徒と教職員双方のウェルビーイング(身体的・精神的・社会的により状態であること)の向上を意識した取り組みも重要ではないかと考えます。時間的・心理的な余裕を確保し、安心して学び、働ける環境を整えることは、結果として学習意欲や教育の質の向上につながるのではないのでしょうか。施策や成果指標においても、こうした視点を反映していただけると、「誰一人取り残さない学び」「より持続可能な教育環境」になるのではないかと考えます。</p>	<p>ご意見を参考として、指標の達成にとらわれず、「誰一人取り残さない学び」や「より持続可能な教育環境」のため、各取組を進めてまいります。</p>	③	学校教育課
8	<p>2ページ 3 子どもからの意見聴取</p> <p>子ども達が計画に主体的に関わることは素晴らしいと思います。この「菊池市教育振興基本計画」についても、子ども達の意見を取り入れてほしかったです。</p>	<p>本市では、上位計画である「菊池市総合計画」や、関連計画である「こども計画」等において、子ども達の意見を取り入れるためのアンケートを実施しております。また、子ども議会や森の学校きくちなどの機会や学力学習状況調査や体力調査、心のアンケートなど、各取組の段階で、広く子ども達の意見を聴取しております。今後も、必要に応じ、しっかりと子ども達の意見聴取に努めたいと考えております。</p>	②	教育部 全課
9	<p>26ページ 基本方針3 「グローバルな人財を育てる」の成果目標1と2について</p> <p>新規に「外国語指導力向上研修の実施率」と「中学3年生でCEFRのA1レベル相当以上を達成した生徒の割合」という指標と目標値が設けられていますが、英語教育の現状が把握されているのだろうか？と疑問を持ちました。</p> <p>今、小学校英語と中学英語入門期の間に大きなギャップができています。5年前から中学の英語教科書は驚くほど難しくなり、単語の数も英文の量も劇的に増加しました。小学校では英単語を書く練習をしていないにもかかわらず、中学の教科書では「小学校の単語」として、多くの単語が既習のものとして扱われています。さらに、中学1年生の教科書前半は「小学校の活動をふり返ろう」ということで、大事な文法事項が高い密度で次々に登場します。例えば Unit1 には、be動詞も、一般動詞も、その疑問文も、否定文も一度に出てきます。(以前は be動詞に慣れてきた頃 Unit 3 で一般動詞が登場し、そこで躓く生徒がいました。今は中1の Unit1 が躓きの始まりになっています。)中学に入っすぐに、英語が読めない、書けない、意味がわからない、という大きな壁にぶつかっている中学生がたくさんいます。</p> <p>教科書の難化は菊池市の責任ではありませんが、目の前に英語が苦手な嫌いなになっている生徒が増えている以上、小中の英語教育がゆるやかにつながり、英語を楽しんで学べる中学生が増えていくよう、何らかの手立てが必要と思われる。</p> <p>しかし、指標1「外国語指導力向上研修の実施」について申し上げますと、先生方のご努力だけでは限界があると思われまます。(すでに現在も様々な工夫の上で指導をされています)教科書で最低限ここまで習得させましょう、というミニマムな目標設定があれば、先生方にも余裕ができ、より多くの生徒が英語を理解し、意欲を持てるのではないのでしょうか。指標2のような数値目標を設定するのではなく「誰一人取り残さない学び」を目指し、全ての生徒が主体的に英語学習に参加できるよう、先生方、子ども達、保護者の声に耳を傾けて実のある目標をたてていただきたいと思います。</p>	<p>ご意見を踏まえて、引き続き、先生方や子どもたち、保護者の声に耳を傾けてまいります。また、「英語(※小学校は外国語)が「好き」「分かる」と回答した児童・生徒の割合」を成果指標として追加します。</p>	①	学校教育課

10	<p>菊池市教育大綱に基づき、各項目について取り組み事項が示され成果指標と目標値が設定されていますが、中には新規に指標と目標が設定されたものがあり、ただでさえ忙しい学校現場をさらに忙しくするのではないかと危惧しています。</p> <p>新規に設けられた、道徳の公開授業、「菊池っ子60運動」の6項目の達成、児童生徒と市内3高校の生徒との交流活動、英語検定などの達成目標、菊池市内の企業と教育機関等と連携した学びの場の提供などなど、すでに学校で取り組まれているものもあると思いますが、学校の更なる多忙化を招くのではないのでしょうか。また数値目標はそれを達成するための調査集計の時間も必要となります。</p> <p>子どもと向き合い、充実した教育をのびのびとできる学校になるようにもっとスリム化した計画となるよう切に願います。</p>	<p>今回の計画策定においては、前計画から指標の削除や見直しを行っております。一方で、成果指標は教育行政を進める上で必要なものと考えておりますので、ご理解ください。</p>	②	教育部 全課
11	<p>学校図書館に勤務する司書として、内容について意見を述べさせていただきます。</p> <p>成果指標もわかりやすい目標値ではありますが、現在、菊池市は、公共図書館・学校図書館の連携のもと、子どもの読書環境の充実を図っています。また、「菊池市子ども読書プラン」を策定しています。このプランは、子どもの読書環境を応援する具体的な内容と施策が具体的に書かれています。</p> <p>具体的な取組内容、もしくは具体的施策の中に「菊池市読書プラン」に沿った等の文言を入れてはいかがでしょうか。</p>	<p>基本方針4の取組事項22(多様な学習情報、学習機会の提供)について、取組内容を「第三次菊池市子どもの読書活動推進計画(きくちっ子読書プラン)(令和8年度～令和12年度)に沿った活動を推進します。」と修正いたします。</p>	①	市立図書館